



新年ご挨拶

2010年を迎え 謹んでご挨拶を申し上げます。

顧みればこの20年、我が国にとっても私達個人投資家にとっても決して良き時代であったとは申せず、国力も懐も、気分までもが随分と小さくなりました。

★マラソンに例えれば、はるか先頭を入っていると思っていた日米欧の先進国が「フツ」と振り返ると韓国・台湾などの第二集団、中国・インドなどの第三集団が猛スピードで追いついて来ており、こちらは息が上がりに足元がもたついているのに、あちらは若さもあり、やけに元気がいい。トップグループの先進国は「こんな筈ではなかったのに」とすっかり自信を失くしております。中でも「日の丸ゼッケン」の落ち込みは酷く、数々の不安要因を抱えています。

- ① 人口は減っているのに年寄りが増える＝少子高齢化
- ② 学校を出ても就職先が無い＝失業増の社会問題化
- ③ 製造業、事務処理の海外移転＝産業の空洞化
- ④ 利益無き安値競争＝デフレスパイラル
- ⑤ 財政赤字がひどいのに効果が乏しいばら撒き政策＝いずれ大增税へ
等々難題は多い。

★政官業も手を拱いていた訳ではありませんが、対策は遅く、ピンチはズレています。

これまでの長すぎた低迷と、対策の効果を顧みると、これからも政治を当てにしても始まらない。あれこれと悪い点を指摘して悩んでいる間にも私達の身近な所に、これまでにない大きな変化が起きています。

例えば、駅・ホームの売店に平積みされていた週刊誌や、本屋の店先をところ狭しと積み上げていた会社四季報も、パソコンと携帯電話の普及により見る影もなくなりました。

携帯やパソコンは比較サイトにより、価格を白日の下にさらし、デフレを加速させる要因となっています。実際ヤマダ電機の売り場で、携帯で検索した最低価格を店員に提示して値段交渉をしているツワモノを見かけました。大型店舗をかかえる百貨店、スーパー、〇〇量販店の苦悩が窺い知れます。

そして、オンライン化により本支店、顧客、取引先とのやり取りは経費削減を徹底させ、テレビ会議の充実は商談や出張の機会を少なくしてしまいました。新幹線や飛行機に乗らなくなり、弁当・お土産は売れず、ホテルの稼働率は下がり、宿泊費は安くなっています。

また、多機能化した、携帯電話は便利故、多くの産業を消滅させようとしています。

マンガ、書籍、辞書、新聞、時計、時刻表、カメラ、地図、GPS（全地球測位システム）、手帳等携帯一つで用を足せ、私達をまるで「ドラえもん」のようにさせてくれます。

暇を無くした文明人

これらの情報機器の進化は私達の興味を際限なく広げ、大切な時間を盗られたようになっております。その「とぼっち」は出版社・本屋・車・証券会社など多くの産業が被っております。サラリーマンが車内で見ると少年マンガは携帯電話の操作に替わり、会社四季報はパソコンで見るとなりました。



出版社は窮地に陥り、本屋は廃業に至る。事実、日本橋茅場町の証券専門の本屋さんは昨年閉店しましたし、地方の大型書店も相次いで店じまいをしています。

時間を盗られる代表的なものにマイカーがあります。長い間、あこがれの対象であった車は給油、洗車、メンテナンス、駐車場の確保、はたまた事故・保険など、手間がかかります。車への関心が薄れると、高級車から安価で環境にやさしい低燃費車へと考えが変化しています。

私達の株取引もネット取引が主になり、取引所に何千人もいた場立ちはコンピューターに置き換わり、売買手数料は百分の一に下がりました。情報もなく昔ながらの高い手数料を取っている証券会社や証券マンの廃業も続いており、兜町もシャッター通りへと変貌しております。

変化に即した選択を

★このように、身近なところでも衰退する業種は多く、投資先の選択には一層先見力が問われます。

暫くは中国・インドなど人口が多く勢いのある国へのシフトはやむを得ないでしょう。

そこへ投資するか、進出するか、モノ・技術を売るか？なんらかに関わって行かなければ企業としても、その次の発展はありません。

しかし、それらの国はトラブルも多く、一筋縄では行きません。ドバイをみてもお分かりの通り、水の無い所に大都市を造ることは、無謀としか言いようが無く、中国・インドのような人口大国がCO²の増加を伴う経済成長を続けるには無理があります。水、資源、エネルギーなど環境面からも早晩限界が来るでしょう。

★我が国はGDPから見ると活力の無い国になりました。だが、20年もの長き低迷は、企業に合理化、スリム化、省エネを徹底させ、財務体質も強化してきました。日本企業に対する信頼、製品の安全、安心、品質、長寿命も断トツで抜きん出ています。

世界は人口増とCO²増加に対処しなければなりません。温暖化、水、農地、食糧の不足、資源の枯渇、それらの難題に対応できるのは日本の企業であり、その技術力は未だ健在です。

ヒントは水、食糧増産、省エネ、鉄道・信号、原子力、発電・次世代電力網、化学(CO²)、水素・燃料電池、地下、日本観光、携帯通訳機などです。関連企業を調査されまして、2~3年先を読んだ投資は良き成果をもたらすことになるでしょう。

JAII 日本個人投資家協会は創立 15 周年となりました。その記念行年として下記を予定しております。

JAII 新年会	1月14日(木) 17:30~	JAII 事務局地下「トラットリア・ラーチェロ」
JAII 会員大会	2月13日(土) 13:30~	日本橋公会堂
JAII 企業見学会	2010年 春	京都を予定
JAII 株式講座	2010年 4月~	開講

皆様の参加をお待ちしております。

2010年1月5日

特定非営利活動法人
日本個人投資家協会
事務局長 奥 寿夫